



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 25-09

4月号

発行 2023年4月9日

Chartered 1998

会長 山本 剛史郎
副会長 松川 厚子
会計 吉田 公代
書記 吉野 勝三郎

クラブ会長主題「温故知人」「明日に向かって新しい出会いを！」

国際会長 Ulrik Lauridsen 氏(デンマーク)

主題“Let Your Light Shine“

(輝かそう、あなたの光を)

アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen(台湾)

主題“Elegantly Change with New Era”

(新しい時代とともに、エレガントに変化を)

東日本区理事 佐藤重良 (甲府 21)

主題「未来に向けて今すぐ行動しよう」

関東東部部長 工藤大丈(ベイサイド)

主題「新規技術(テクノロジー)を縦横に 駆使し、効率を重んじる。

すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」「成せば、成る」

“No challenge, No fruit”

4月の聖句

子よきたりて我にきけ われエホバを畏るべきことを汝
等にをしへん

福祉(さいはひ)をみんなのために生命をしたひ

存(ながら)へんことをこのむ者はたれぞや

なんぢの舌をおさへて悪につかしめず

なんぢの口唇をおさへて虚偽(いつはり)をいはざらし

めよ

悪をはなれて善をおこなひ

和睦(やはらぎ)をもとめて 切(せち)にこのことを勉

めよ

(文語訳【明治元訳】聖書 詩編 34 編 11~14 節)

子らよ、来て私に聞き従え。

主を畏れることを教えよう。

命を慕い

日々を愛して恵みにまみえる人は誰か。

悪からあなたの舌を

欺きの言葉からあなたの唇を守れ。

悪から離れ、善を行え。

平和を求め、これを追え。

(詩編 34 編 12~15 節)

Come, you children, listen to me.

I will teach you the fear of Yahweh.

Who is someone who desires life, and loves many days,
that he may see good?Keep your tongue from evil, and your lips from speaking
lies.

Depart from evil, and do good. seek peace, and pursue it.

(Psalms 34:11~14)

2023年3月の統計(3月25日)

在籍9名 出席者7名(リモート含む)出席率78%

巻頭言

会長 山本剛史郎

福祉、welfare、well-being

ウィキペディア(Wikipedia)によると、福祉(ふくし、英: Welfare)とは『「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉であり、すべての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念を表す。』この福祉という単語だが、日本国憲法第 25 条、通常「生存権」と呼ばれる文章に「社会福祉」という言葉で書かれている。とある社会福祉に関するテキストで、「福祉とは第二次世界大戦後、日本国憲法第 25 条で初めてできた概念であり、単語で

ある」と書かれていたという話を聞いたことがある。しかし、それは間違いで、4月の聖句に載せたように明治時代に訳された聖書、詩編に「福祉」という言葉がしっかりと出てくる。しかし、その時には「ふくし」とは読まず、「さいわい」と振り仮名がついている。「福」も「祉」も漢字の意味としては、神からの与えられた幸い、幸福を意味する言葉であり、現在、WHO や YMCA などでも言われている well-being の意味合いが強い。つまり、幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態が「福祉」という単語には込められている。高齢者福祉に携わる者として、改めて福祉について考えてみなければならぬと感じた。

2023年4月 例会プログラム(予告)

お散歩例会 川越喜多院を訪ねる

日時:2023年4月22日(土)午後1:30~3:40
場所:ウエスタ川越第一会議室 (13:30~14:15)
その後、喜多院に移動、喜多院見学・周辺散策
(14:40~15:30)
はすのかカフェにて休憩(川越市小仙波町1-3-7
の2) (15:40~)

喜多院とは(参考情報)

慈覚大師が830年(天長7)に創建した天台宗の名利で、正式には星野山無量寿寺喜多院という。江戸時代初期、名僧天海大僧正が住職をつとめた寺として、また江戸城から移築された三代 将軍徳川家光・春日局ゆかりの建物をはじめとする、多くの文化財を所蔵している喜多院の名は川越をというより、埼玉県を代表する寺院として全国的にも有名である。その喜多院に隣接して、駿府で没した徳川家康公の遺骸を日光山へ運ぶ途中で法要が行われたことから建設された日本三大東照宮の一つである仙波東照宮もあり、江戸時代の香りを色濃く残す徳川家とゆかりの深い寺である。また、日本三大羅漢の一つに数えられるこちらの五百羅漢は、人間の喜怒哀楽をよくとらえた様々な表情の石仏群でおよそ540体が境内に並び、観光客の人気を集めている。

申し込みは川越ワイズメンズクラブ、山本までメールしてください。4月15日(土)締め切りです。ワイズメン以外の方も大歓迎です。多くの方を誘って参加してください。

メールアドレス: goshiroyamamoto@gmail.com

3月例会報告

吉野勝三郎

IBC アメリカ合衆国 オレゴン州 Salem Y Service Club との zoom による交流会

2023年3月25日(土)、zoomにより、Salemクラブとの交流会が持たれました。アメリカはサマータイムに入っていたことから、先方は1時間早く集まっているという

ハプニングもありましたが、昨年のクリスマス以来の交流会となりました。同地に縁のある久保田貞視ワイズ(東京八王子)と為我井輝忠ワイズ(東京町田スマイリング)もズームで参加してくれました。

Salemからは、Salem市と、Salem YMCAの歴史、特に昨年9月13日に新築・竣工したYMCA会館が紹介されました。川越からは、川越祭を動画も含めて紹介し、太平洋を挟んでのIBCとして絆を強めることができました。Salemクラブには二人の子供も加わっていました。



Salemからの参加者



川越クラブの面々

(埼玉YMCA50周年でもらったクラブ宛の感謝状とともに)

成人のリーダーを祝う会

川越センターでの会合終了後、エルミタージュに場所を移して、川越センターでボランティアリーダーを務める3名の現役大学生と食事をしながら交流を深めることができ、私達のクラブの存在を知ってもらい良い機会になったと思います。再会を期待して解散となりました。



埼玉YMCA50周年記念式典

吉野勝三郎

1973年に大宮でスタートした埼玉YMCAは今年、50年を迎えました。その記念会が、3月21日(火・休日)浦和バプテスト教会で開催されました。当日は、上林順一郎牧師の説教、創立に寄与された方の

話、歴代総主事の話など、盛りだくさんで、94名の参加者全員が、この半世紀にわたる埼玉YMCAの歴史を思い起こすとともに、更なる発展を祈念して閉会となりました。

川越クラブからは、山崎純子ワイズと吉野勝三郎ワイズが出席し、お祝い金をさしあげました。埼玉YMCAからは、長年の川越ワイズの支援に対して感謝状をいただきました。(3月例会の写真参照)



当日の集合写真



右から、桑原道子(5代目総主事)、仲谷宏基(創設者の一人)、大迫裕男(創設者の一人)、飯島隆輔(第2代総主事)、新井裕和(第4代総主事)、吉野勝三郎(評議員会会長) 敬称略

東京グリーンクラブ 50周年記念会報告

利根川太郎

3月21日(火)春分の日、KKRホテル東京におきまして、東京グリーンクラブの設立50周年記念例会が催され、参加して参りました。

川越クラブからは、山本剛史郎会長、吉田公代さん、利根川恵子、利根川太郎の4名で参加いたしました。コロナの影響があり各クラブ4名までの参加でしたが、84名の参加者があり盛会でした。

記念例会でのご紹介に、東京グリーンクラブはたいへん若い会員によるチャーターであったというお話がありましたが、50年の時を経て、他のクラブから大先輩として頼りにされるクラブとなっています。14名の会員を擁して、たいへん元気に活動されている様子が伝わって参りました。「神田川船の会」も今年で44年目を迎えて、コロナの中断から昨年復活して6月10日の開催予定が第87回とのことでした。

会の途中、多くのワイズメンがお世話になった塩入公之助さん、浅見隆夫さん、布上征一郎さんに黙祷を捧げました。

ピアノトリオ「アンディムジーク」の優雅な調べの中、とても穏やかな春の日の午後、チャーターメンバーの表彰や50年の歴史と活動の軌跡を伺い、とても楽しく豊かな時間を過ごしてまいりました。



国際の舞台から

“Keiko's Monthly Briefing of YMI/ASP”

次期アジア太平洋地域会長／国際議員 利根川恵子

(1) 100周年記念行事(台湾・台北)

再三にわたる延期の末、ようやく対面で開催された、100周年記念行事でしたが、台湾の実行委員会(チャタリング・アジア太平洋地域会長が実行委員長)と台湾区のメンバーのひとかたならぬ努力で、無事に成功裡に終わりました。その概要を以下に記します。

- ・期日: 2023年3月10日(金) - 12日(日)
- ・参加者: 合計 530名 (海外: 270名、台湾区: 260名)

日本からは西日本区24名、東日本区25名 計49名

埼玉YMCA関係では、埼玉クラブ・衣笠輝夫さん、所沢クラブ・澁谷弘祐さん、川越クラブ・利根川太郎・恵子でした。

- ・内容： ワイズメンズクラブ100年の歴史紹介ビデオ投影、バースディケーキカット、台湾の伝統文化紹介（京劇、原住民のダンス等）、基調講演（環境問題）、IBC 締結式、アジア太平洋地域ソングブック披露、表彰、国際執行役員就任式、ユースによる講演、アジア太平洋地域大会およびユースコンボケーション・アピール

・特記事項

- ① 「戦略 2032」により、YMI を現代にマッチした組織に変えようという青年国際議員の提案。元台湾 YMCA のリーダーで、現在はアメリカで IT 企業に就職している台湾青年の「若者とギグ (gig) 文化」のスピーチ。定職、高収入よりも一時的な仕事で満足する若者たちの考え方の紹介。若い世代からのワイズ運動への提言が好評。
- ② 100 名を目標とした 2,500 米ドルの名誉会員は合計 42 名。アジア太平洋地域からは 20 名分（個人 17 名、1 クラブ、1 部、1 区）。30% が地域の 100 周年記念事業に還元される予定。今後も募集を継続。
- ③ 約 30,000 米ドルの赤字。国際から補填予定。

多くの写真の中から 3 枚を選んで掲載しましたが、<http://30d.jp/ysisiapan/22> にたくさんの写真が収録されていますので、ぜひご覧下さい。



(2) アジア太平洋地域関係

いよいよ、地域大会、ユース・コンボケーションが具体的になってきました。特に香港の地域大会は、4月7日から登録が開始されました。

ユース・コンボケーションも募集が間もなく始まります。クラブで推薦が必要ですので、お心当たりのユースをお知らせください。

- 第 30 回アジア太平洋地域大会 香港 2023
 - ・期日：2023 年 11 月 3 日（金・祝）～5 日（日）
 - ・会場：香港中華 YMCA 九龍センター、金蓮花・国際宴会場、バウヒニア・ハーバークルーズなど
 - ・登録費：スーパー早期割引（～5/31）290 米ドル / 早期割引（～7/31）310 米ドル / 通常 360 米ドル
 - ・登録受付開始：2023 年 4 月 7 日（金）
 - www.ymiaspac2023.org
こちらから登録ができます。
 - ・その他：ハロー香港キャンペーン
航空券が 50 万枚当たるキャンペーン、100 香港ドルのギフトバウチャーが貰えるキャンペーンの利用可能。
- アジア太平洋地域ユース・コンボケーション
 - ・期日：2023 年 8 月 25 日（金）～29 日（火）
 - ・会場：ネパール・ポカラ ホテル・パウア
 - ・登録費：220 米ドル（地域発展基金から補助金を検討中）
 - ・募集人数：18 歳～30 歳までのユース 80 名（YMCA 職員、ユースクラブメンバー、クラブから推薦を受けたユース等）



[YMCA報告](#)

河合今日子

＜50周年記念式典を終えて＞

3月21日、埼玉 YMCA 創立 50 周年記念式典を迎えることができました。当日は、歴代の総主事や常議員の皆さま、懐かしい皆様がお集まりくださいました。多くの方々のご協力とお支えがあり、50 年を迎えられたことに感謝いたします。

これからもスタッフそれぞれが自分に与えられた責任を十分に果たしていけるよう努力していきたいと思っておりますので、引き続き皆様のお力添えをお願いいたします。

＜成人のリーダーを祝う会＞

2022 年度は、3 名のボランティアリーダーが成人を迎えました。素敵なお祝いの会を開いていただきあ

りがとうございました。3名のリーダーからメッセージが届きましたので、3回にわたって掲載いたします。

ワイズメンズクラブの皆様へ。

先日は素敵な会を開いていただき、ありがとうございました。普段大人の人の話をあのようによく聞く機会はあまりなかったので、すごく楽しく勉強になりました。

私が YMCA と関わりを持ったのは幼少期で、その頃は友達について行く感覚で参加していました。リーダーとして活動をし始めたのは去年の5月頃で、2年生になったから新しいことを始めたく思いリーダーになりました。同じ YMCA でも子どもの頃と今では見える景色は全く違うもので、活動を通して多くのことを学ばせてもらっています。

活動を通して感じたのは、幼少期の自分がいつも楽しく活動できたのには、いつも子どもたちを優しく、時には愛の厳しさで見守ってくれるリーダーがいたからなのだと感じました。これが何年経っても変わらずにあるというのは本当にすごいことだと思います。子どもたちだけでなくリーダー内でも受けた優しさを相手に返せる環境が YMCA であったから、それらが紡がれていまもその優しさがあるのだと感じます。わたしはこれからも、この環境がずっと続いていて欲しいです。そして YMCA で得たものが外の輪にも広がるように生きていきたいと思います。

また、ワイズメンズクラブみなさんのお話を聞いて人との関係というのは本当に大切なものだと感じました。出会いは昔でもその絆は今と変わらず繋がっている様子を見て、人は出会うべくして必要な人と出会えるのだと感じました。残り2年の学生生活、人とのつながりを大切にしていきたいと思います。これからもよろしく願いいたします。

阿部真琴（おこめリーダー）

（編集後記）

今月は、私のわがままを聞いていただいて、このブリテンを早めに発行することができました。ある方は、午前 3:12 に原稿を送信してくれました。本当にありがとうございました。

川越ワイズに参加して25年。本当に良い人達に出会えて、幸せです。4月例会はインド出張中のため欠席させてもらいますが、インドではある出会いを期待しているので、嬉しい報告ができるのではないかと考えています。乞うご期待。(K. Y.)